

入退管理システム ProxLock[®]

入退管理システムの応用

●医療スタッフ

「職員ICカード」の発行



- 医局、医事課、病歴室、情報システム室など
個人情報保護の対策
- 職員毎にセキュリティ権限の設定

●入院患者様

「患者ICリストバンド」の発行



- 識別距離 60cm
- 入院患者様毎にセキュリティエリアを設定
- 家族カード、見舞客カードの発行
- 個人認証用ICチップ内蔵可(オプション)

●ベビーセキュリティシステム

「新生児ICアンクルバンド」の発行



- ゲート型 90cm幅、120cm幅
- 新生児連れ出し防止システム
- 個人認証用ICチップ内蔵可(オプション)

セキュリティレベルの設定

「どのフロア」「どのドア」を「誰」が「通過可能」かを、権限管理用PCから設定します。

- ①個人ごとの登録 ②職種ごとの登録 ③部署ごとの登録
④役職レベルごとの登録 ⑤時間帯による入室制限 ⑥カレンダー設定

解錠権限の設定情報を、LAN経由で自動ドアや電気錠ドアをコントロールする各コントローラに配信します。各コントローラは独立して、配信された情報を使い解錠、施錠の制御を行います。

入退管理システムは、管理サーバ内に「職員ID」と「ICチップ識別番号」を保持し、各コントローラは「ICチップ識別番号」を保持します。「ICチップ識別番号」は、ICチップの製造時に設定された世界でひとつしかない固有番号です。ICチップの紛失時や再発行時には、この識別番号の再設定により、簡単に設定変更ができます。



障害発生時の運用

①完全無人運転

FA用の耐障害性サーバを使用していますので、システムの障害による全機能停止は、ありません。また、ドア毎の施錠・解錠の運用を年間カレンダーで設定することができますので、24時間・365日の無人運用が可能です。

②管理サーバ障害・ネットワーク障害

各自動ドアや電気錠を制御しているコントローラは、独立してCPUと権限情報を保持していますので、万一管理サーバの障害やネットワーク障害が発生しても、その時点での状態で継続的に運用可能です。各コントローラも耐障害性に優れた構造になっていますので、ほとんどの障害は自己診断機能により自動復旧します。

③停電時運用

停電時は、各コントローラがバッテリーを内蔵していますので、権限情報は保持されます。回復後には、通常通り自動的使用を再開します。

④火災・災害時運用

火災報知器や非常ボタンと連動したプログラマブル自動解錠が可能です。